

baudroie inc.

2022年2月期 第4四半期および通期
決算補足説明資料

株式会社 ボードルア

2022年4月



Role Inc.

- 1. 会社概要 P3
- 2. 業績ハイライト P8
- 3. 2023年2月期 業績見通し P17
- 4. APPENDIX P20

baudr

会社概要

Company Introduction

会社概要

商号

株式会社 **ボードルア**

設立

2007年4月

取締役

代表取締役社長 富永 重寛
代表取締役 藤井 和也
取締役 程島 義明
社外取締役 安藤 温
常勤監査役 竹内 靖浩
常勤監査役 岡本 俊夫
監査役 尾中 直也
監査役 西川 研一

決算期

2月

社員数

653名

(正社員/契約社員含)*2022年2月現在

業務内容

ITインフラストラクチャ事業

主要取引先

ソフトバンク株式会社
KDDI株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社野村総合研究所
住信SBIネット銀行株式会社

本社

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー37階

第二オフィス

東京都港区六本木7-3-12 六本木インターナショナルビル7階

第三オフィス

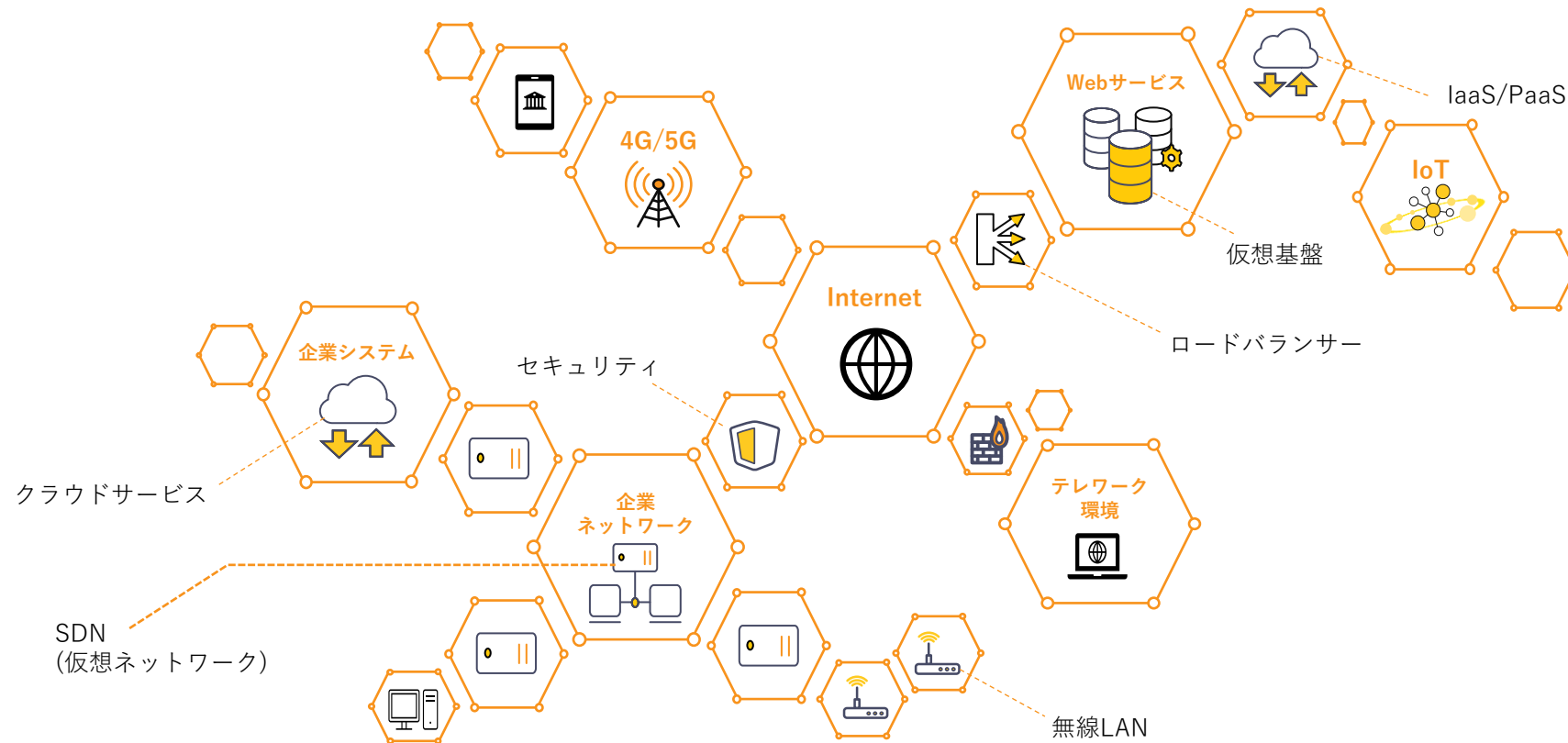
東京都港区六本木3-10-9 榎川誠志堂ビル4階、6階

有資格者

CCNA: 610名
CCNP: 468名
クラウド関連資格: 41名 (AWS) 他
*2022年2月現在

ITインフラストラクチャサービスとは

様々なアプリケーション・システムを利用するために、システムを動作させるサーバー、システムに接続するためのネットワーク、安全な通信・情報を守るためのセキュリティなど複雑なITインフラストラクチャを設計・構築することや、運用・保守を請け負うこと。これらが構成されITインフラストラクチャは今や生活インフラの一部となっている。



- ※クラウドサービス(IaaS/PaaS)：主にクラウドコンピューティングサービスを指す。
- ※SDN：ソフトウェアによって仮想的なネットワーク環境を作る技術。物理的な制約に縛られず、ネットワーク構成の柔軟な設定が可能。
- ※仮想基盤：1つの物理機器上で、複数のホスト・OSを動作させる仕組み。
- ※ロードバランサー：サーバを複数台で構成した場合に、端末からの通信をリソース毎に適切に振り分ける仕組み。
- ※セキュリティ：ファイアウォール、IPS/IDS、サンドボックス、Webフィルタリング、など。

事業領域

ITインフラストラクチャサービスに特化した専門事業者

ITインフラストラクチャサービス市場の位置づけ

2020年における国内IT市場全体は17.9兆
そのうちITインフラストラクチャサービス市場は1.7兆円



ITインフラストラクチャ分野で成長が著しい技術領域



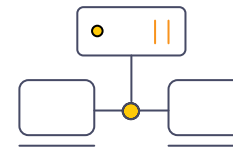
クラウド



セキュリティ



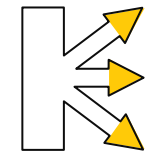
無線LAN



SDN
(Software-Defined Networking)



仮想基盤



ロードバランサー

※出典：IDC Japanプレスリリース「新型コロナウイルス感染症の2021年3月末時点での影響を考慮した国内IT市場予測アップデート」(2021年5月25日)

※出典：IDC Japanプレスリリース「国内ITインフラストラクチャサービス市場予測を発表」(2021年5月24日)

システム開発会社及びファシリティ工事業者との違い

当社はアプリやミドルウェア、通信工事を行わず、ITインフラ領域に専門特化

	システム開発会社	baudroie inc.	ファシリティ 工事業者
アプリ	アプリや ミドルウェアを 中心に幅広く サービス提供		
ミドルウェア			
ITインフラストラクチャ (ネットワーク/サーバー)	付随して担当	インフラ市場の パラダイムシフトで、 専門特化型サービスの 需要が増大	付随して担当
通信工事			機器設置及び 配線工事、基地局等

※アプリ(アプリケーション)：基幹業務システム (ERP) やWEBアプリ、スマートフォンアプリなどのユーザが操作する部分、グループウェア(Office365)、AI・機械学習、Java・C・Pythonなどのプログラミング言語を用いて開発を行う。
※ミドルウェア：アプリケーションとOSの間で動作するソフトウェア、Oracle Database/WebLogic・Apache HTTP Serverなど。
※通信工事：屋内のLAN配線や基地局設備の建設、機器設置等

業績ハイライト

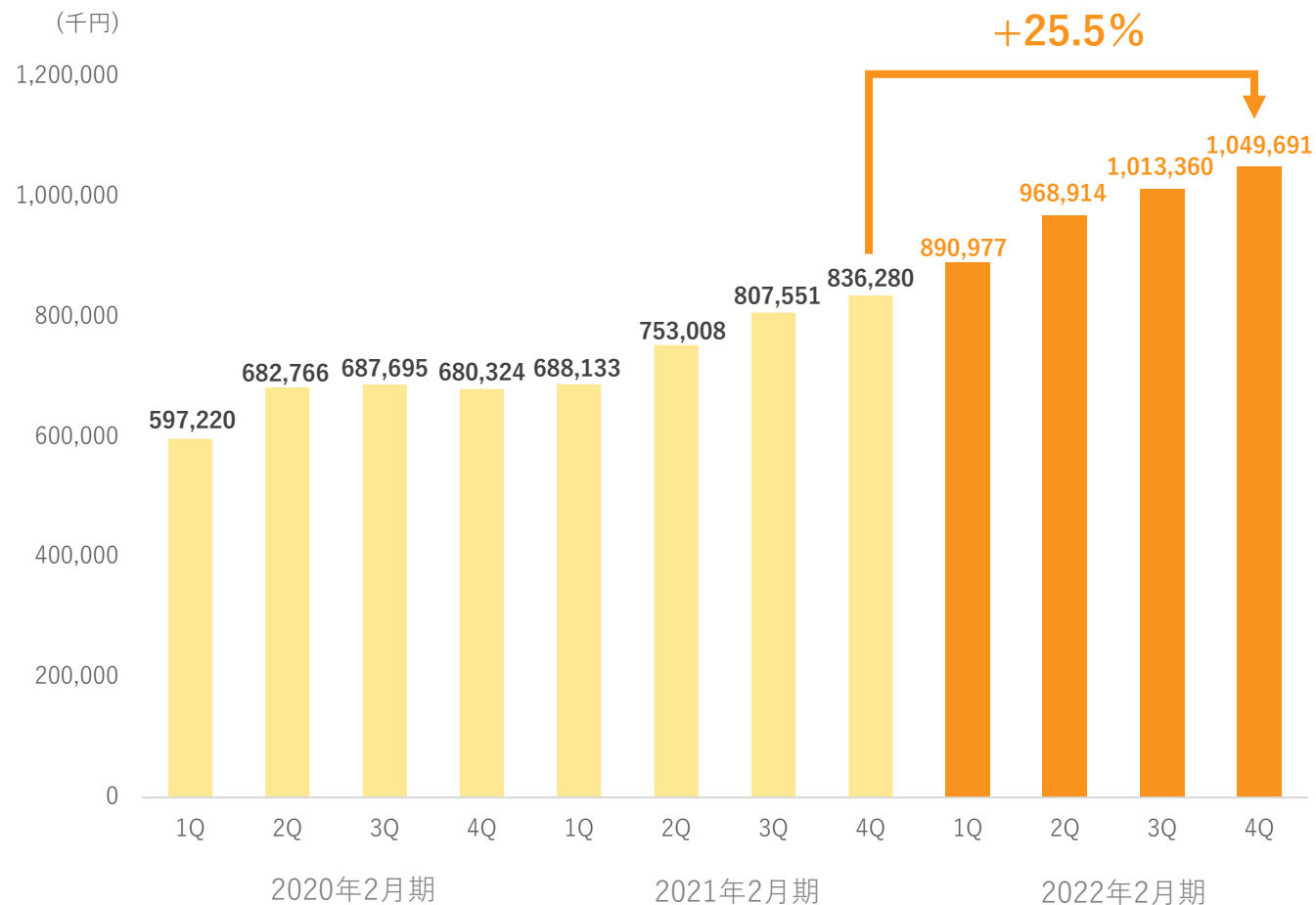
Performance Highlight

業績ハイライト

- ✓ 売上高**39.2**億円(前期比**127.2%**)
- ✓ 営業利益**6.7**億円(前期比**133.4%**)
- ✓ 営業強化によりエンタープライズ顧客取引社数増加(**7社増**)、
先端技術サービスの拡大が業績を牽引

単位(千円)	2021年2月期	2022年2月期 通期業績予想	2022年2月期 通期実績	前期比
売上高	3,084,973	3,920,092	3,922,944	127.2%
営業利益	509,439	635,782	679,536	133.4%
税引前純利益	591,723	690,799	737,078	124.6%
純利益	415,711	479,276	542,774	130.6%

売上高(四半期推移)

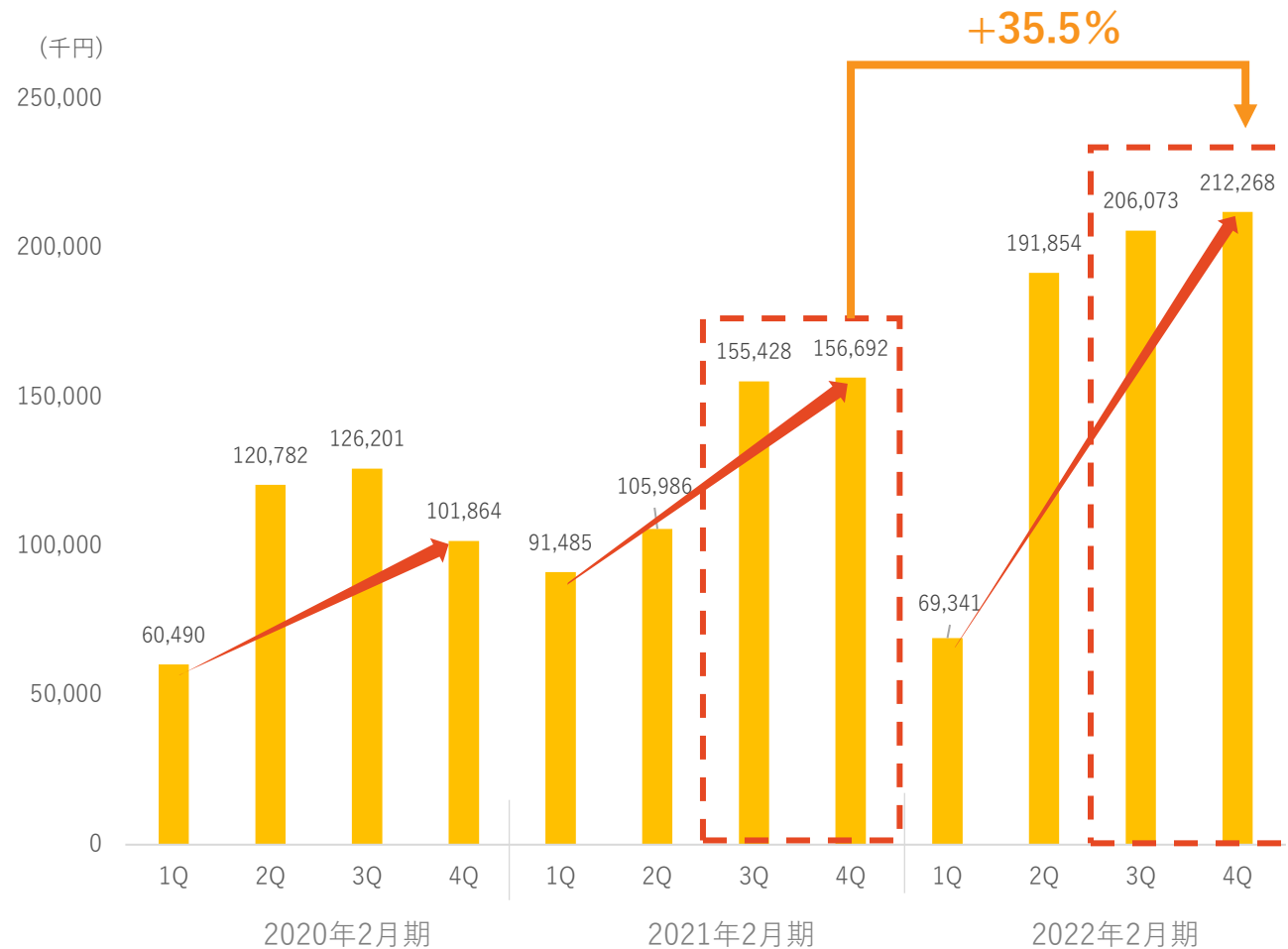


✓ 2022年2月期 4Q売上高は
10.4億円(前期比+**25.5%**)

✓ 2022年2月期1Qから前期4Q売上
を上回る順調な成長

✓ 2年目以降のエンジニアの戦力化に伴い、
専門人材(3年目以上)・高度専門人材の
配属替えを下期に実施

営業利益(四半期推移)

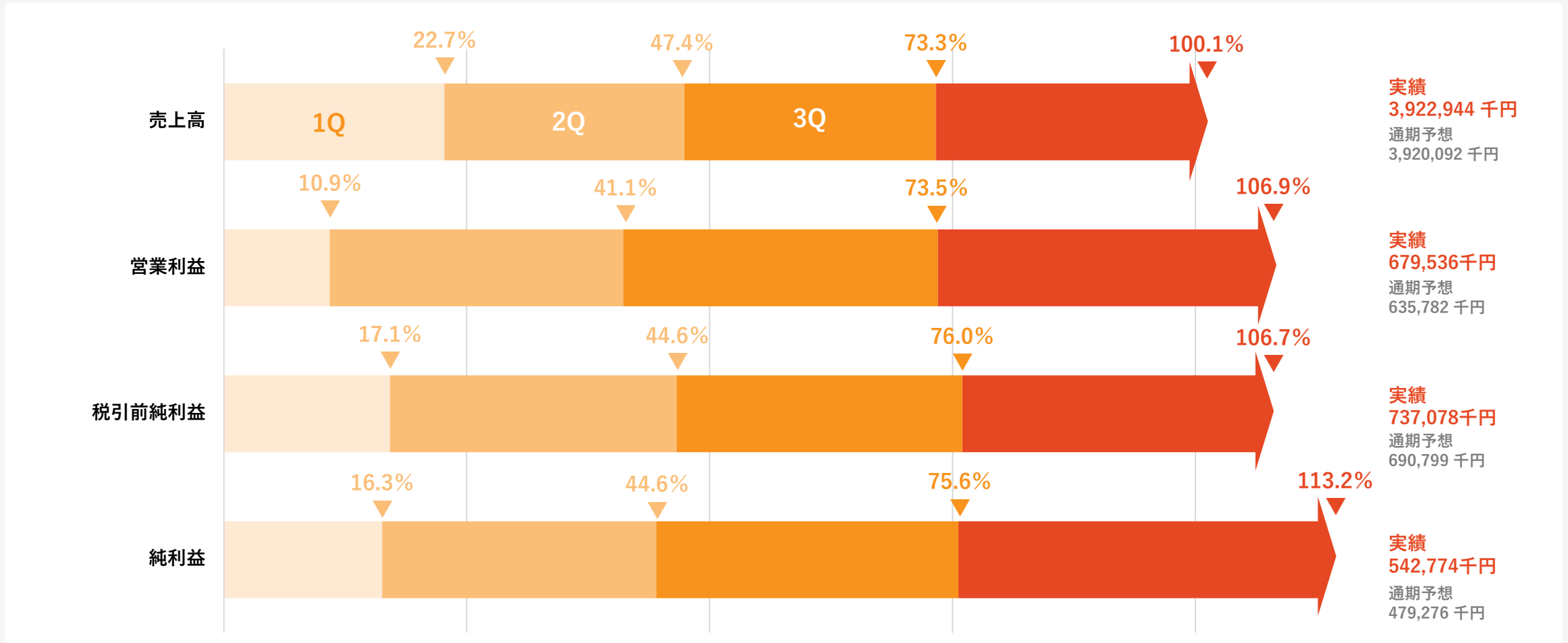


✓ 3Q、4Qに売上が偏ることに加え、1Qは新卒社員の求人採用費(55,000千円)の計上により、売上よりも更に下期偏重に

✓ 2022年2月期より外形標準課税適用対象となったことに伴い、3Q、4Qの租税公課(販管費)が大幅に増加しているものの、2022年2月期4Q営業利益は2.1億円(前期比+35.5%)

通期業績予想進捗状況

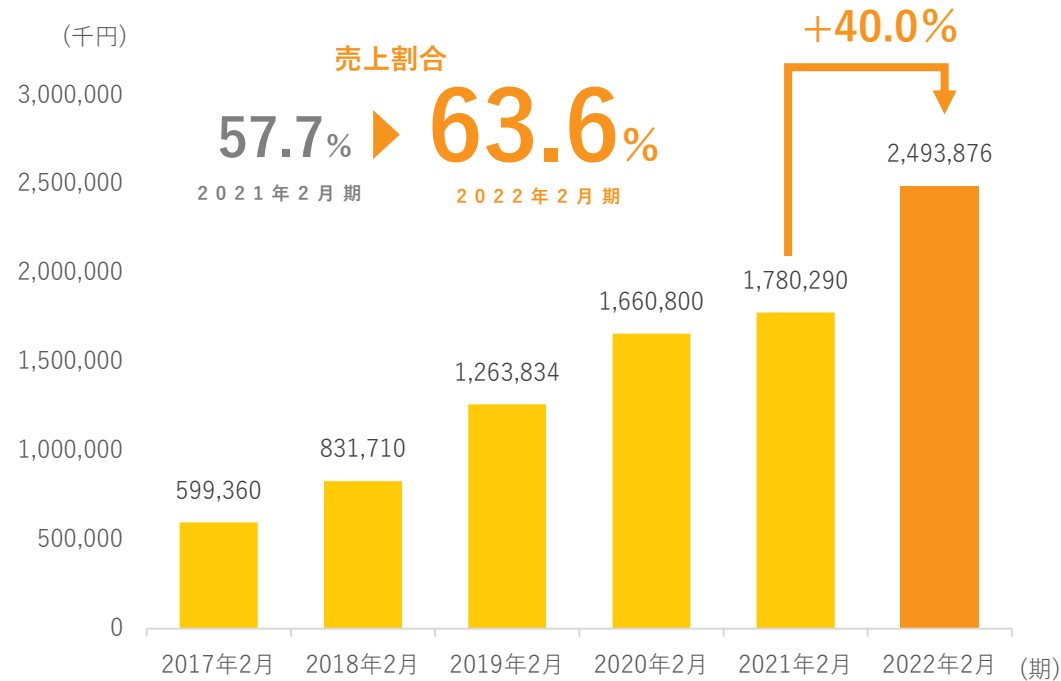
✓ 3Q、4Qにかけての売上、利益増加で順調に業績予想数字を達成



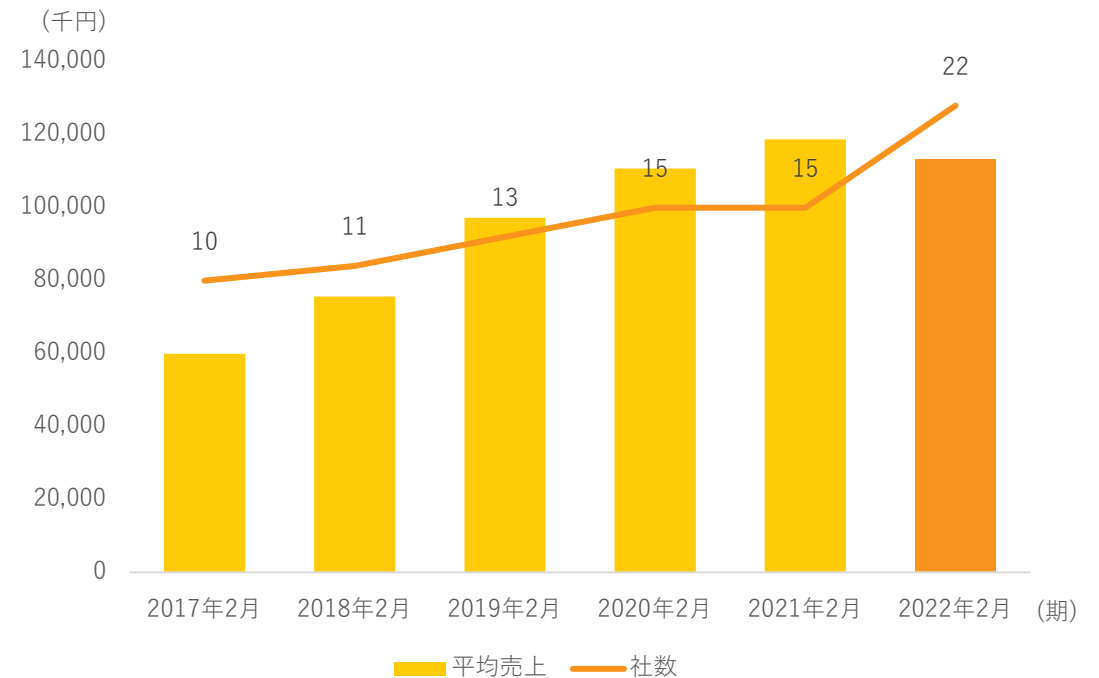
エンタープライズ顧客売上

- ✓ 取引社数は前期より**7**社増加、売上割合も**5**ポイント増
- ✓ 新規取引が増加するも早い立ち上がりの受注で、例年の平均売上に並ぶ

エンタープライズ顧客合計売上



エンタープライズ顧客の1社あたり平均売上と社数

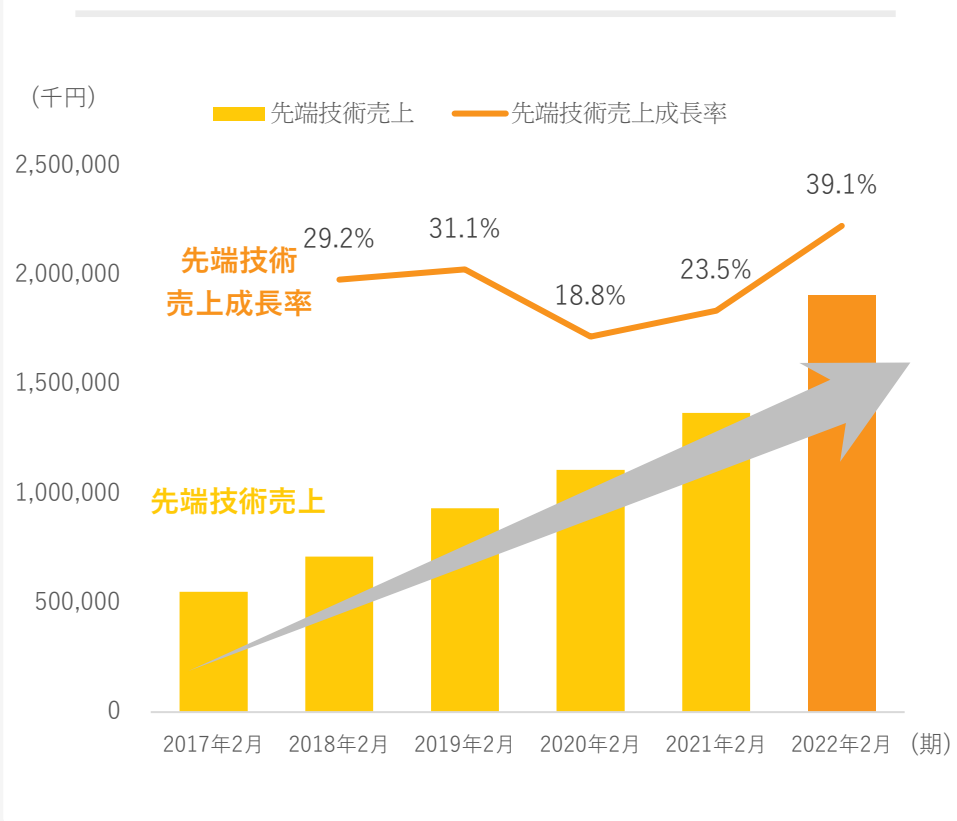


※ 日経225、日経400、日経500いずれかの採用企業または売上500億円以上の企業をエンタープライズ顧客として定義

先端技術分野売上

✓ 先端技術売上成長率は**39.1%**、売上比率も順調に増加

先端技術サービスの売上推移



高い成長性が期待される先端技術分野

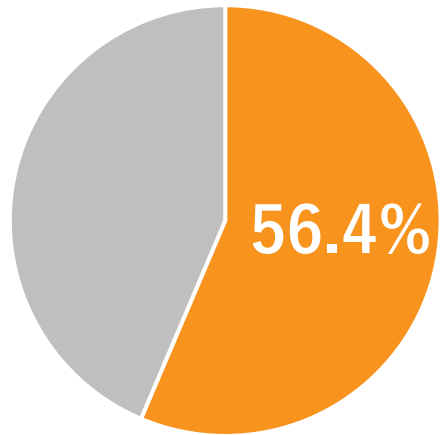
	市場規模予想	市場の CAGR	当社の ^{※6} 売上比率
ワイヤレス (グローバル市場)	1,306 億米ドル (2026年) ^{※1}	15%	16% ↑5p
ロードバランサー (グローバル市場)	50 億米ドル (2023年) ^{※2}	14%	19% ↑3p
ネットワーク 仮想化 (国内市場)	704 億円 (2025年) ^{※3}	5%	10% 0p
クラウド (国内市場)	2.5 兆円 (2025年) ^{※4}	19%	27% ↑3p
セキュリティ (国内市場)	5,033 億円 (2025年) ^{※5}	6%	12% 0p

※1 出典：BCC Research「世界のワイヤレス接続市場」(株式会社グローバルインフォメーション)
 ※2 出典：MarketsandMarkets「ロードバランサー(負荷分散装置)の世界市場」(株式会社グローバルインフォメーション)
 ※3 出典：IDC Japanプレスリリース「国内ネットワーク仮想化/自動化市場およびNFV市場予測を発表」(2021年5月10日)
 ※4 出典：IDC Japanプレスリリース「国内パブリッククラウドサービス市場予測を発表」(2021年3月8日)
 ※5 出典：IDC Japanプレスリリース「2020年下半年 国内情報セキュリティ市場予測を発表」(2021年5月27日)
 ※6 「当社の売上比率」の増減は2021年2月期実績より比較、また、2つ以上の分野の重複売上も含む

ストック型売上

- ✓ ストック型売上割合はエンタープライズ顧客拡大の要因で
前期より**1.7**ポイント増加

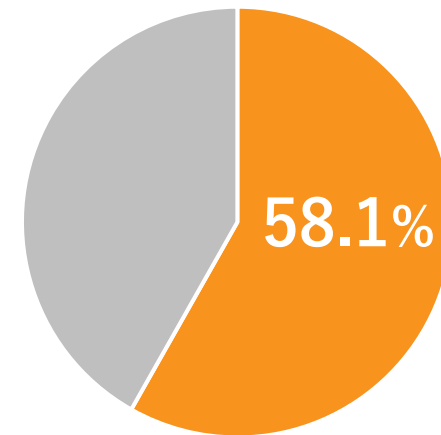
2021年2月期



ストック型売上 1,743,552 千円

総売上 3,084,937 千円

2022年2月期



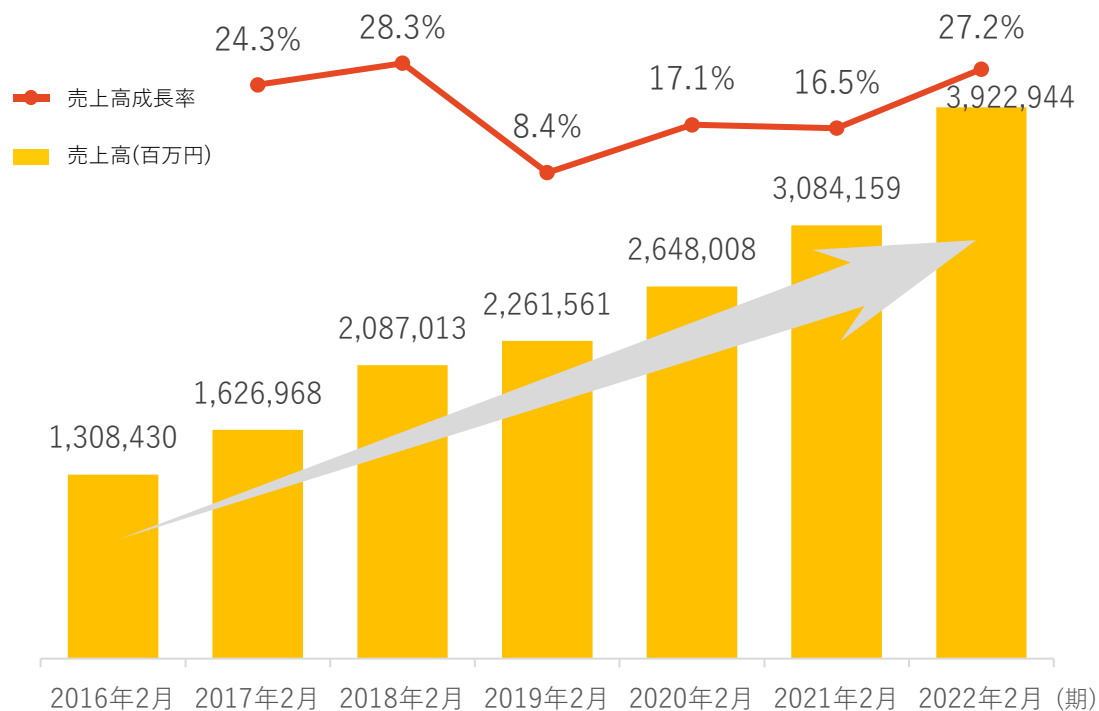
ストック型売上 2,280,410 千円

総売上 3,922,944 千円

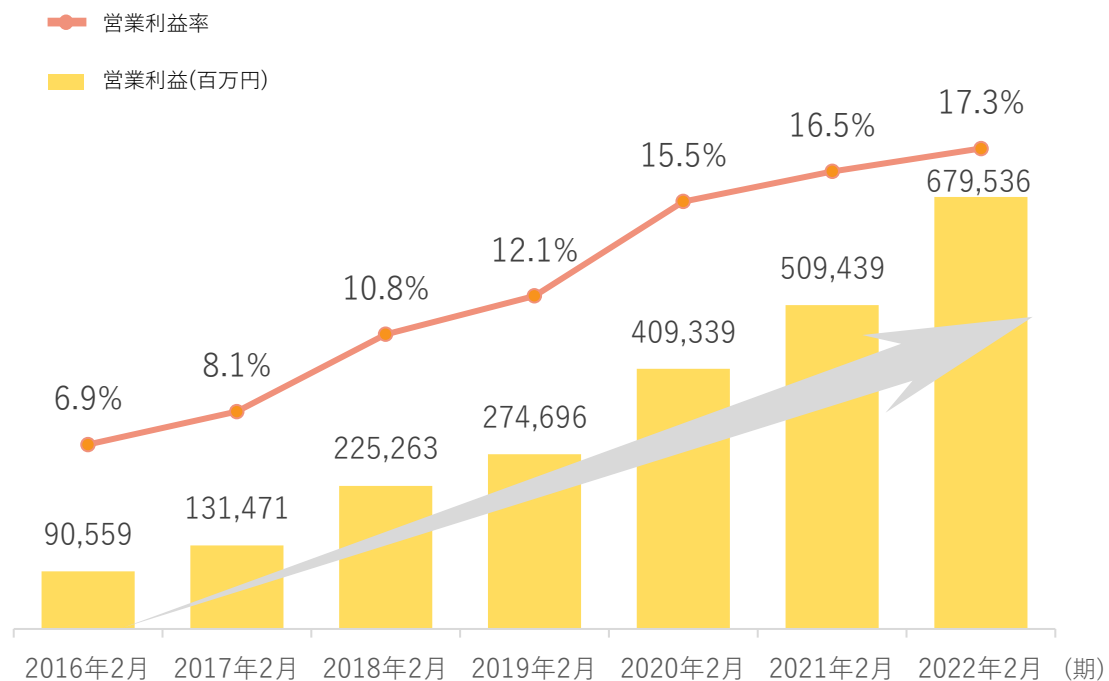
売上・利益推移

✓ 2013年2月期より**10**期連続で増収増益

売上高および売上高成長率推移



営業利益および営業利益率推移



2023年2月期 業績見通し

Financial Forecast

2023年2月期 業績予想

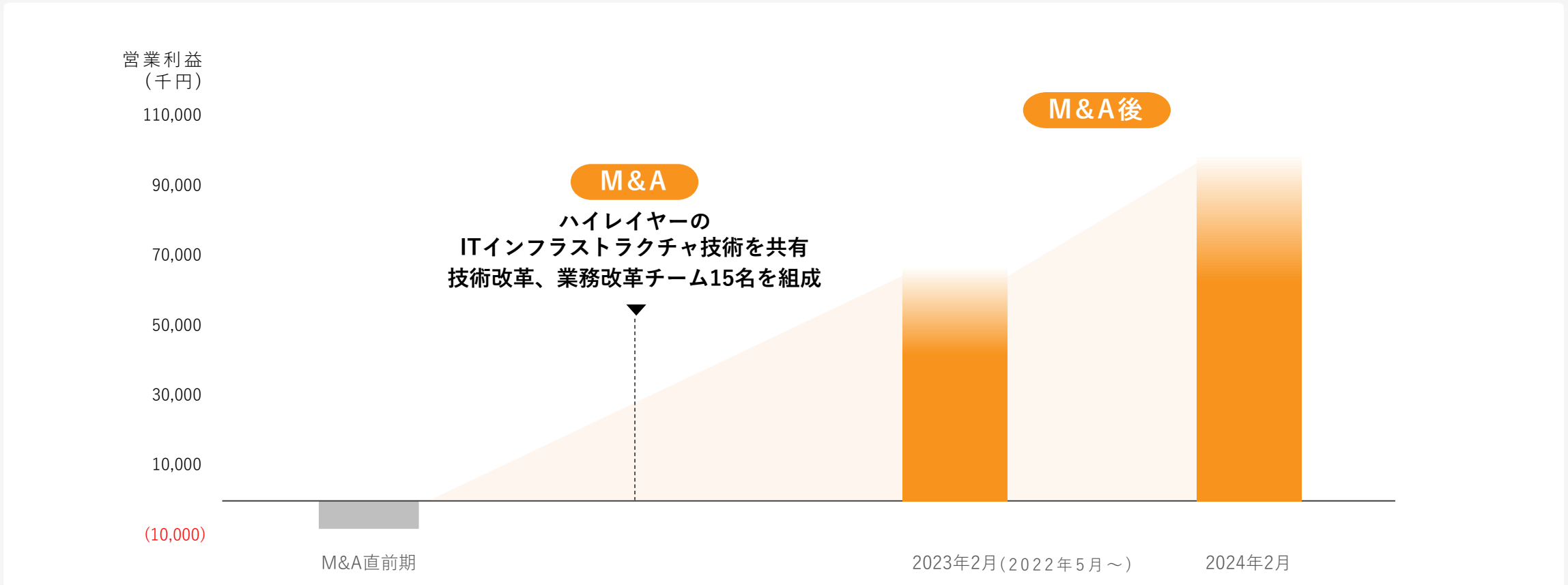
成長に関するトピックス

- ✓ ネットワークインテグレーションをメインとする株式会社ZOSTECを子会社化
- ✓ ハイレイヤーのITインフラストラクチャ技術を共有し事業規模拡大を図る
- ✓ 中期経営計画は現在検討中

	2022年2月期 通期実績	2023年2月期 単体業績予想	2023年2月期 連結業績予想	前期比
売上高	3,922,944	4,680,000	5,100,000	130%
営業利益	679,536	855,000	875,000	129%
税引前純利益	737,078	910,000	935,000	127%
純利益	542,774	666,000	684,000	126%

M&A後の子会社の業績予想

- ✓ ZOSTEC社の前期営業利益は▲800万円
- ✓ 当社による業務改革効果が見込まれ、子会社化後の業績はのれん償却費を考慮しても黒字化
- ✓ 2024年2月期はさらに成長を後押し



Appendix

業績推移

単位(千円)

	2017年2月期 第10期	2018年2月期 第11期	2019年2月期 第12期	2020年2月期 第13期	2021年2月期 第14期	2022年2月期 第15期
売上高	1,626,968	2,087,013	2,261,561	2,648,008	3,084,973	3,922,944
営業利益	131,471	230,012	274,696	409,339	509,439	679,536
経常利益	116,255	217,992	237,982	395,841	542,494	688,011
当期純利益	79,757	135,544	162,557	278,824	415,711	542,774
営業利益率(%)	8.1%	11.0%	12.1%	15.5%	16.5%	17.3%
経常利益率(%)	7.1%	10.4%	10.5%	14.9%	17.6%	17.5%
売上高成長率(%)	-	28.3%	8.4%	17.1%	16.5%	27.2%
営業利益成長率(%)	-	75.0%	19.4%	49.0%	24.5%	33.4%

業績推移

売上は堅調に伸長

ネットワークへの特化により
営業利益率の伸長が顕著

要因/変化点

サービスの進化に伴い
顧客システムが複雑化



当社のように
専門性の高い企業
が求められている

企業の社会的責任



4 質の高い教育を みんなに



新たなIT産業を創出する若者や、高度なITスキルを持つ実践的な若者を育成することは、持続可能な社会の発展につながると考えています。

当社では、社員に対する教育研修はもちろん、これから社会で活躍する一般の大学生向けにもIT資格を習得する研修を実施しております。(年間150名以上の大学生の合格実績)

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



サーバやストレージなどの仮想化の導入をお客様へ提案し、そのサービスを普及させていきます。ITインフラ機器の利用効率の向上させることによって、サーバやストレージの台数の集約につながり、台数が少なくなれば発熱量や冷却設備に必要となる電力も抑えることができます。このような仮想化の技術でITインフラ機器の省電力化に貢献していきます。

9 産業と技術革新の 基盤をつくらう



人々に便利さをもたらしたITは、今や人を守ったり、命をつないだり、さらに重要な役割を担いはじめています。世界中のあちらこちらで、日々新しいITサービスが生まれ、少しずつ現実になってきている今、ITのチカラを最大限に発揮し、よりよい未来を創っていきたいと考えています。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社に関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

baudroie inc.